



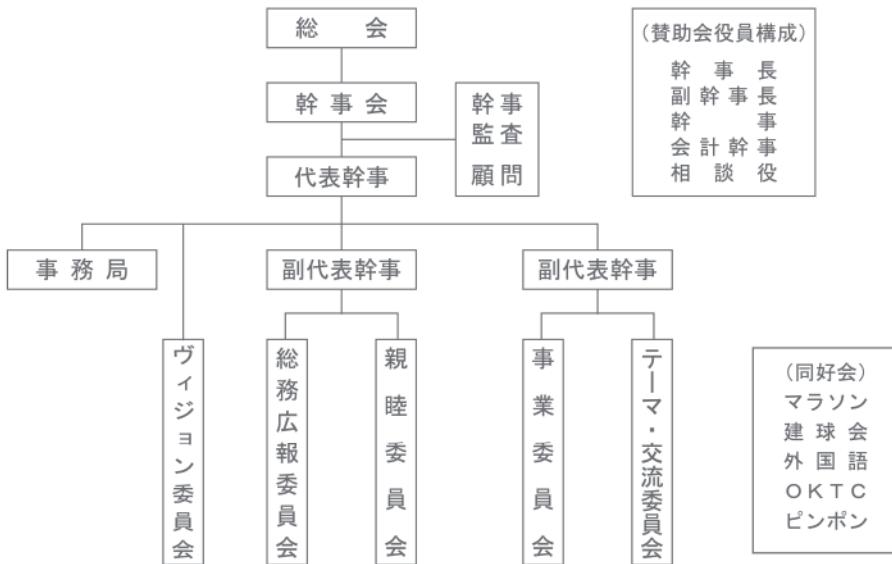
岡山建築設計クラブ  
第26回 ワンデーエクササイズ

2019



# OKC 岡山建築設計クラブ

岡山建築設計クラブ（OKC）は、昭和62年に設立された、岡山県内で建築設計・工事監理を専業としている建築設計事務所有志による任意団体です。令和2年5月現在、正会員34社と賛助会員48社で構成され、「建築設計事務所の業務・技術の進展をはかり、建築文化の発展に寄与する」ことを目的に、「ひとづくり」「まちづくり」を活動テーマとして掲げ、日々活動をしています。役員任期を1年として、毎年の代表幹事が「年度の具体的なテーマ」を掲げていくことも会の特徴になっています。



## 【ワンデーエクササイズについて】

本会の目的である「建築文化に寄与すること」や「ひとづくり・まちづくり」の観点で、岡山県内で建築を学ぶ、建築系の大学・短大・専門学校・高校の学生・生徒を対象として、1日設計コンペ「ワンデーエクササイズ」が、平成6年に誕生しました。

「ワンデーエクササイズ」の特徴として、学校別にチームで参加する点があげられます。まちづくりは、個人の考え方ではなく、多くの人々と協議しながらまとめていくことが必要になりますので、この企画は、その機会を与えていているものと考えています。

第4回目以降は、設計で活躍中の著名な建築家を審査員長に迎え、学生への刺激や興味を掘り起こしながら、学生たちの発揚を目指すと共に、審査当日、審査員長とのやりとりを通して、建築家の視点による、深い意図の読み取りを目指しています。

「ワンデーエクササイズ」は、共催、後援など多くの皆様に支えられて、本年度26回目の開催になりました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

2019年

岡山建築設計クラブ

第26回 ワンデーエクササイズ

ONEDAY EXERCISE

INDEX

審査委員長（千葉学）総評	…03	出展作品紹介	
大会概要	…05	【最優秀賞】	
出展一覧・審査結果	…06	岡山県立大学 県大チーム	…09
審査風景（審査会ドキュメント）	…07	【優秀賞】	
代表幹事（森茂樹）挨拶	…20	ノートルダム清心女子大学チーム	…10
		岡山理科大学専門学校 RISENチーム	…11
		【奨励賞】	
		山陽学園大学チーム	…12
		岡山工業高等学校 建築研究同好会チーム	…13
		【OKC賞】	
		岡山理科大学 チームH	…14
		岡山理科大学 やだらぼチーム	…15
		【学会奨励賞】	
		岡山理科大学 YASラボチーム	…16
		【総合資格賞】	
		岡山理科大学 M. Labチーム	…17
		【京橋朝市賞】	
		山陽学園大学チーム	…12

## 総評

### 審査委員長

千葉 学



#### 経歴

- 1985 東京大学工学部建築学科 卒業
- 1987 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了  
・同年、日本設計入社
- 1993 ファクター・エヌ・アソシエイツ共同 設立  
東京大学工学部建築学科キャンパス計画室助手
- 2001 千葉学建築計画事務所 設立
- 2009 スイス連邦工科大学客員教授
- 2013 東京大学大学院工学系研究科教授
- 2016 東京大学副学長
- 2017 ハーバード大学 GSD デザインクリティーク

#### 主な作品・受賞歴

- 2002 東京住宅建築賞（黒の家）
- 2007 日本建築家協会賞（日本盲導犬総合センター）
- 2008 第49回BCS賞（日本盲導犬総合センター）
- 2013 日本建築学会作品選奨（諫早市こどもの城）  
第27回村野藤吾賞  
(工学院大学125周年記念総合教育棟)  
第54回BCS賞（大多喜町役場）  
ユネスコ文化遺産保全のためのアジア太平洋賞 功績賞  
(大多喜町役場)
- 2014 第55回BCS賞（工学院大学125周年記念総合教育棟）
- 2016 日本建築学会作品選奨（大多喜町役場）  
日本建築学会作品選奨  
(工学院大学125周年記念総合教育棟)  
第58回BCS賞  
(敦賀駅交流施設「オルバーア」・駅前広場キャノピー)
- 2017 他多数

ワンデーエクササイズに参加された皆さん、お疲れ様でした。また受賞された皆さん、おめでとうございます。このような学校での課題とは別の共通のテーマに対し、各自が膨大なエネルギーを注いで一つの作品をつくりあげることは、他に例をみない企画だと思います。そこに積極的に参加しただけでも、受賞以上に価値あることだと思いますし、またこのような企画を長年継続している関係者の皆さんのご尽力には、改めて敬意を表したいと思います。

テーマは水際空間の再生でした。水際空間は、一見楽しげで簡単なようですが、実は困難な課題だとも思います。貴重な生活資源であり、また交通の基盤でもあった時代もあれば、治水に重きが置かれ、街と水空間が乖離してしまった時代もあります。一方で親水性を重視する動きもあれば、近年では災害も大きな課題です。そのような状況下で未来を描くことは、一筋縄では行かないことですが、しかし皆さんからの提案はどれも、示唆に富んだ多くの可能性を秘めたものが多かったと思います。

最優秀になった「ツカノマノママ」は、こうした水際空間の多様な側面に見事に応えた案でした。河岸段丘のように作られた地形は、大きな河原に小さな場所性を与え、いくつもの視点場を生み出しています。また仮設的なテント状のストラクチャーは、水際に生起する祝祭性を支えると同時に、都市における貴重な空地としての価値を維持していく可能性も残しています。素晴らしい提案でした。「一期一会」は、美しい木造建築が何よりも魅力的でした。中とも外ともつながり、自然そのもののような建築であれば、この場所にあっていいと思わせる説得力がありました。「おいでんせー京橋」は、河岸の堤防を建築化し、滞在施設にしようという企画が冴えていました。都市のエッジだからこそ可能な提案です。「繋がる地域の輪～日本初!!水上朝市!!～」も、好感を持ちました。船が集まる、それだけで様々な街との接点を持った場が生まれるという構想は、実は最も素直なアプローチですが、ありそうでなかった提案です。

皆さんがこれから活躍する社会は、僕たちの時代以上に複雑な様相を呈しています。社会そのものが複雑になったということもあります、都市や自然が本来持っていた複雑さがようやく顕在化し、把握可能になった時代だと言うこともできます。そのような中で、建築を学んだ人たちが活躍する場はますます広がるでしょうが、同時に広範な視野をもって多面的に設計を捉えていく必要性も高まるでしょう。そのためにも是非、長編小説を書くようにして設計に励んでいって欲しいと思います。一瞬の閃きや思い付きは不可欠ですが、それを4コマ漫画のようにして終わらせるのではなく、壮大な物語を描くようにして組み立てていけば、この複雑な時代は混乱ではなく豊かであると感じられる場がたくさん生まれると思います。

今回ここに集まった人たちには、そんな長編小説を書く力量のある人たちだと感じました。皆さんのがんばりの活躍を期待しています。

千葉 学

## 概要

「人づくり」「まちづくり」を大きなテーマとしている岡山建築設計クラブでは、今からのまちづくりを担う学生達が、学校から離れた場所で他校との交流をはかり、相互理解を深め、実社会で活躍している建築家との出会いの中から現実を学ぶことは、大きな意義を持つものと考え、本年も建築系を学ぶ学生を対象にワンデーエクササイズを開催いたします。建築とは単体で成り立つものではなく、周辺環境に深く影響を与えます。一敷地の計画はまちづくりへ展開していきます。これを機会に岡山について考え、将来どうありたいかを話し合うことにより、一層親しみを持って「岡山のまちづくり」に取り組んで行けるようになると考えます。この企画を通じて、建築を学ぶ学生たちが成長の一過程で何かをつかみ取ってくれることを期待し、また、学生たちのアイデアが一般市民の目に触れることにより、新しい議論のきっかけとなり、岡山のまちづくりに貢献できることを期待しています。



会場の岡山市勤労者福祉センター

- 開催日 令和元年10月26日（土）
- 会場 岡山市勤労者福祉センター 体育集会室 5F
- 主催 岡山建築設計クラブ
- 共催 （一社）岡山県建築士会  
（一社）岡山県建築士事務所協会  
（公社）日本建築家協会中国支部 岡山地域会  
（一社）日本建築学会中国支部岡山支所  
（公社）日本建築積算協会中国四国支部岡山県部会
- 後援 岡山県・岡山市・倉敷市
- 特別協賛 株式会社 総合資格

### ●課題地

京橋朝市会場（建築物は全体に建てなくとも可）

### ●課題名称

「京橋から『繋ぐ』『とき、ばしょ、ひと』～朝市をにぎわせる～

### ●コンセプト

岡山市の京橋では、毎日第一日曜日の早朝に「市」が立ち新たな賑わいを作っています。ここ京橋は、旧山陽道の岡山の入口でありかつては岡山の水運の拠点としても栄えていましたが、高度成長期から先の街中の空洞化や、水運拠点の海側への移動などにより、一時は賑わいを失いかけていました。しかし、近年のマンション開発等による居住の都心回帰も含めて、岡山市中心市街地は賑わいを取り戻しつつあり、また、今年より就航した京橋と瀬戸内の島を結ぶ高速船で新たな賑いも生まれようとしています。その一方で、賑わい拠点の分散やコミュニティの消失等新たな問題が生まれています。

今年度のワンデーエクササイズのテーマは岡山市の都心部に新たな賑わいを作りつつある京橋朝市の会場を拠点として、かつて賑っていた“とき”をつなぐこと、表町商店街や中心市街地と“ばしょ”をつなぐこと、さらにそこに集まった“ひと”と“ひと”的つながりを深めることを目指して、いつでも誰でも集まれ、楽しい時を過ごせる中心市街地の核となる建物で～朝市をにぎわせる～の提案をもとめます。



#### 【敷地条件】

注1 建築用途や構造、規模の制限は問いませんが、建築的に不可能な内容は避けること

注2 實施コンペではありません

#### 【提出物】

プレゼンテーションパネル（A1サイズ）2枚以内。

・計画意図が表現できるものと、簡単な説明文。

・模型（B1サイズ）の提出も可とする。

・趣旨説明書（A4版）1枚で50部。

#### 【表現】

自由（内容を伝えるための絵図、写真貼付け等自由）。

#### 【プレゼンテーション】

開催当日、各チーム10分程度のプレゼンテーションを行う。

（パワーポイントの使用可）

#### 【審査方法】

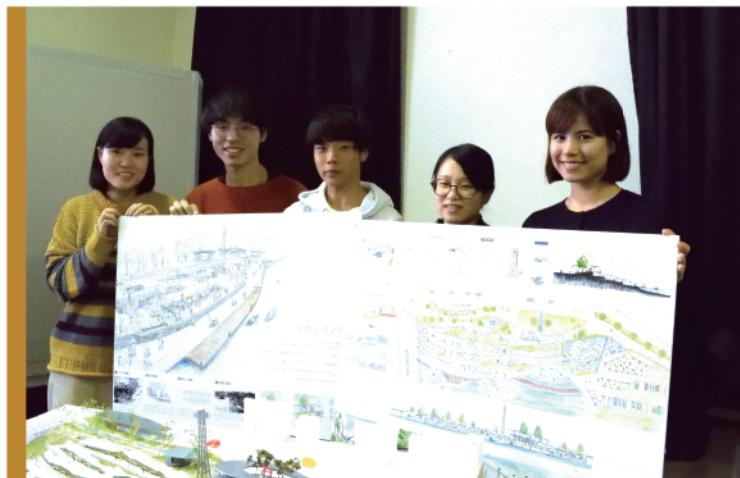
公開審査（プレゼンテーション／審査委員とのヒアリング）により各賞を決定。

課題地の京橋朝市会場（着色部）

# 審査結果

## 最優秀賞

P.09



岡山県立大学  
県大チーム  
ツカノマノママ

### 優秀賞

P.10



ノートルダム清心女子大学  
ノートルダム清心女子大学チーム  
「おいでんせー京橋」歴史と彩りの町

### 優秀賞

P.11



岡山理科大学専門学校  
R I S E N チーム  
「一期一会」

### 京橋朝市賞・奨励賞

P.12



山陽学園大学  
山陽学園大学チーム  
繋がる地域の輪～日本初!!水上朝市!!～

### 奨励賞

P.13



岡山工業高等学校  
建築研究同好会チーム  
京橋から『繋ぐ』とき、ばしょ、ひと“  
～朝市をにぎわせる～

### O K C 賞

P.14



岡山理科大学  
チームH  
欠片の集積

### O K C 賞

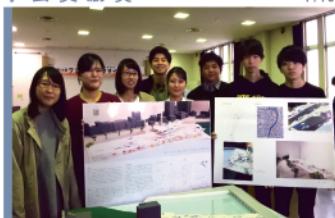
P.15



岡山理科大学  
やだらぼチーム  
私、環足し、渡す。

### 学会奨励賞

P.16



岡山理科大学  
YASラボチーム  
「縛」つなぐ

### 総合資格賞

P.17



岡山理科大学  
M. L a b チーム  
MINORI

# 審査 風景



A



B



C



D



E



F



G



H



I

- A 冒頭あいさつをする森茂樹氏(岡山建築設計クラブ代表幹事)
- B 岡山理科大学 チームH[優秀賞]によるプレゼンテーション
- C 岡山県立大学 県大チーム[最優秀賞]によるプレゼンテーション
- D 岡山県立大学 県大チーム[最優秀賞]の作品「ツカノマノママ」
- E 岡山理科大学 M. L a b チームによるプレゼンテーション
- F 審査委員長のと千葉学氏による質疑
- G ノートルダム清心女子大学チーム[優秀賞]によるプレゼンテーション
- H ノートルダム清心女子大学チーム[優秀賞]の作品「『おいでんせー京橋』歴史と彩りの町」
- I 岡山理科大学 やだらぼチームによるプレゼンテーション



J 岡山工業高等学校 建築研究同好会チームによるプレゼンテーション

K 岡山理科大学専門学校 RISENチーム[優秀賞]によるプレゼンテーション

L 岡山理科大学専門学校 RISENチーム[優秀賞]の作品「一期一会」

M 岡山理科大学 YASラボチームによるプレゼンテーション

N 山陽学園大学チームによるプレゼンテーション

O 表彰式における賞状授与(岡山県立大学 県大チーム[最優秀賞])

P 出展者・審査委員・会場運営ならびに関係者らによる集合写真

Q 千葉氏との個別交流会の様子(ノートルダム清心女子大学チームブースにて)



# ツカノマノママ



▶岡山県立大学 デザイン工学科

県大チーム

田中 美海 ヨハンソン リサ 田中 智  
橋本 拓磨 平尾 彩乃 山浦 健士郎



## Concept

月に一度、開かれる備前岡山京橋朝市は岡山の地元の野菜やごはん、雑貨などを求める人たちで溢れ、早朝から賑わう。普段は穏やかなこの場所も朝市が始まると賑わい、それが終わるとまたいつもの穏やかな場所に戻る。その様子はかつて水運の拠点として栄えていた当時の面影を色濃く残している。賑わいと静けさの連続、非日常と日常の連続は人々を受け継がれてきたこの場所の性格である。この性格を受け継ぎ、新たな賑わいを生み出す建築を提案する。

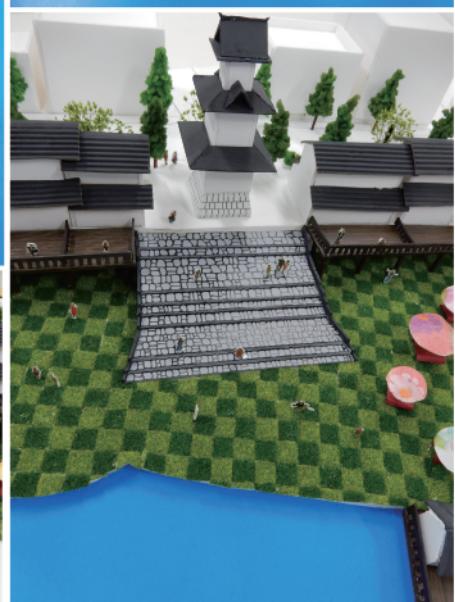
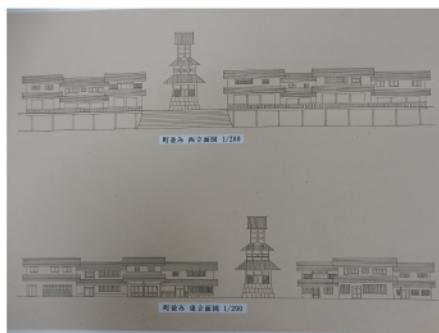
人で賑わう日もあれば日常のままの日もある、静と動が繰り返されるという特徴を持つこの場所には一時的、又は定期的なイベントを開催しやすい場所づくりが必要だと考えた。その為、イベント後は元の静かな風景に戻れるということを重要視した。そして、これに対応できる建築として東の間の賑わいを生む、可変性のある建築を目指した。建築の構造体以外のすべての柱を移動可能なものとし、それを建築外へ移動することで「東の間」の

イベント会場が出現する。普段、柱は屋根の下または歩道に連立している。イベントの準備が始まると出展者が各々柱を抜いて各ブースまで持って行き、屋台やテントを建てる。イベントが終わると利用者は好きな位置に柱を戻す。つまりイベントが行われるたび、その利用者の意思によって柱の位置が移動する。これにより建築の表情、土地の雰囲気が少しだけ、しかし常に変化していく。柱は屋台やテントに使われるだけでなく、「東の間の美術館」が開催されればアートの一部になったり、「東の間の映画館」ではスクリーンの支柱になることを想定している。イベントがあり、賑わっている時に建築から柱が出ていく川辺に柱が連立した風景がつくられる。これは帆柱を立てた船と共に賑わいがやってくるかつての京橋の面影を想起させる。また、この場所は河原であり堤防の一部でもあることから豪雨災害が起これば被害が出やすい場所である。実際に西日本豪雨災害時は基準面から4.88mも水位が上がった。よって西日本豪雨災害時の最高水位で水平線を引き、設備などはすべてこのラインより高い位置に設け、常設されるものは最小限に抑えた。

# 「おいでんせー京橋」歴史と彩りの町



▶ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 人間生活学科  
ノートルダム清心女子大学チーム  
小野 史織 柏野 美菜子 古谷 莉子  
定金 夕雅 多賀 瑞姫 土師 凪紗  
原田 和 舟越 有沙 松本 彩夏



## Concept

旧山陽道の面影を現代に伝えることをコンセプトとし、「おいでんせー京橋」歴史と彩りの町を提案しました。

敷地の川向かいの遠方は緑豊かな東山(操山)が広がっており、その名前は京都の東山が由来になっています。京都の伝統的な町並みは美しいものです。そこで岡山の歴史的な旧山陽道の町並みを再現し、現代でも使える町家の家並みを創出しました。

町家には京都の鴨川にある川床を模して、岡山の旭川に川床をつくりました。ここでは春から秋にかけて、外での会食やお茶を楽しむ場となります。また、川床の下では彩り豊かな朝市の店を開くことを提案しました。広場には唐傘をイメージした彩り豊かな傘屋根を広げ、朝市の出店でも活用します。町並みの中心部には、岡山市表町旧栄町にあった「栄町鐘撞堂」の復元を試みました。昭和20年に空襲で焼失した鐘撞堂ですが、時をつける鐘として、また、上階から東山を楽しむ展望台としても活用します。万成石の階段はところどころに幅を広げ、人々がのんびりとたまることのできる場所にしました。腰を下ろし、そこから広がる景色を眺め、楽しむ空間を演出しました。ステージは河川法を考慮し、浮き構造とし、土地に固定しないステージを考えました。ライブや地域イベントなどで活用し、地域の活性化に役立てます。これから的生活環境づくりとして、流域の人々に旭川の美しさを考え、水のきれいな旭川を取り戻す思いを伝える場所としても提案します。

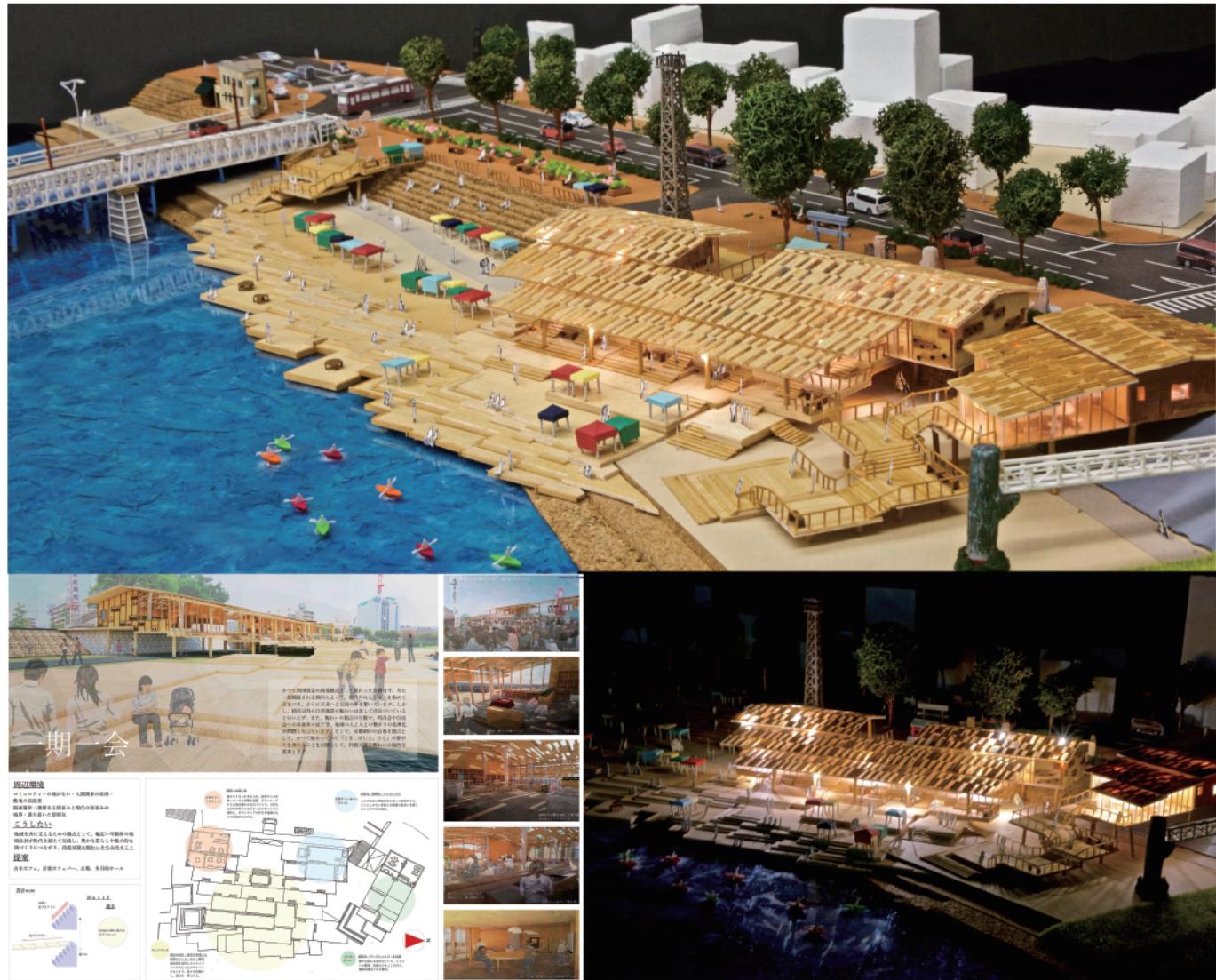
# 「一期一会」



▶ 岡山理科大学専門学校 建築学科

RISENチーム

川上 海夏 筒水 菜々子 西中 大志 井上 有志 佐々 裕基  
佐藤 尚人 澤田 倭芳那 大河 由佳 関 乱馬 高砂 圭希  
馬場 祐輝 角田 樹 瀧波 勇輝 赤澤 良輔



## Concept

かつて、岡山の交通の要としてにぎわいを見せていた京橋は、月に一度開催される朝市によって一時的な賑わいはありますが、日常は活気づいているとは言えません。そこで朝市という魅力のあるイベントを中心として、持続可能な賑わいの場所を目標に4つの要素を提案します。

1つ目は、旭川を身近に感じる休憩スポットです。川辺に寄り添うようにウッドデッキを設けます。ウッドデッキは、道路と川辺の高さに大きな差があったので、階段状にし、水辺に人が近寄りやすい配置計画にしました。また、堤防のスロープ部分の斜路を元の雁木の姿に復元しました。元の雁木は上り下りにくいけ上げと踏面になっているので、一部を緩やかな階段を設け、雁木に腰掛けやすくなるように配慮しました。

2つ目は、古本カフェです。ここでは、読みなくなった本を持ち寄り、読みたい本を持っていくける仕組みを提案します。デジタルでは見つけられない、本との偶然の出会いを楽しむことができます。

3つ目は、音楽カフェ&バーです。楽器を持ち寄った人たちが即興で演奏をしたり、弾き語りなどをするイベントによって、その時にしかない特別なメロディーを聞きながらお茶を楽しむことができます。昼はカフェとして、夜は地酒を生かしたバルとなっています。旭川の豊富な水資源を利用して地酒が作られていることから、旭川をより親密に感じてもらうこともできます。

4つ目は、ふれあいホールです。時にイベントの提案・計画をする小会議室、時に身近に芸術にふれることができるワークショップ、時に屋内型イベントなどと用途は様々です。幅広い年齢層の地域住民が世代を超えて交流し、文化・教養・健康の維持・増進を図るための施設になっています。

私達は持続可能な賑わいとは、人と人との出会いの場であることだと考えました。「橋渡し」という言葉があるように、課題地が人やモノや文化をつなぎ合せ、交流をさらに深めることのできる存在になり、様々な出会いの場になってくれることを願っています。

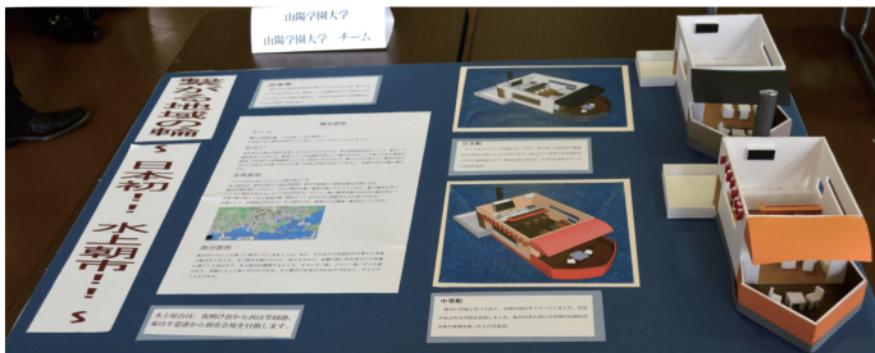
# 繋がる地域の輪～日本初！！水上朝市！！～



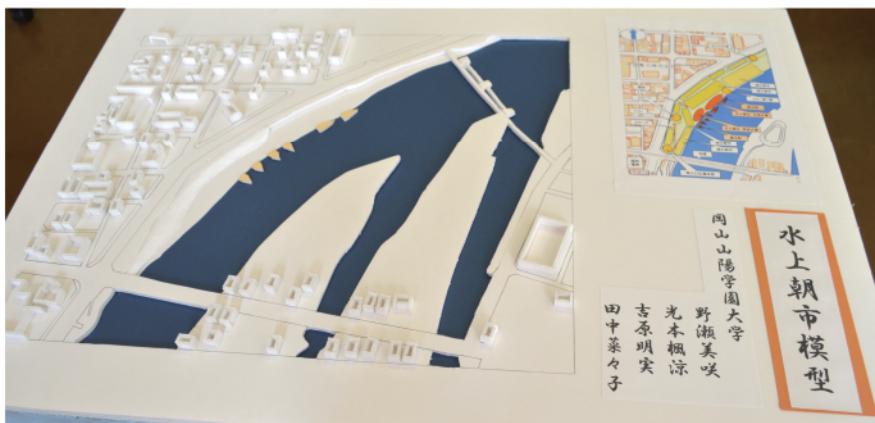
▶山陽学園大学 総合人間学部生活心理学科

山陽学園大学チーム

野瀬 美咲 光本 楓涼 吉原 明実 田中 菜々子



和食の日本丸



配置図：高水敷には桟橋以外作らない



中華料理の中華丸

## Concept

日本初の水上朝市を開きたいと思い、このようなテーマにしました。

### ねらい

○老若男女に岡山の朝市を楽しんでもらいたいために、町の活性化を活かしつつ、船という選択肢をとりました。飲食スペースを確保目的として船の中でゆっくり食べられる場所の提供。お年寄りの休憩場所としてもご利用いただけます。

○船なら川に浮かべ、場所を取らないので来た人が買ったものを食べる為に歩道に出ることがなく、迷惑行為が大幅に減少します。

### 全体説明

○メインの川に沿うようにして船を浮かべます。  
 ○水上屋台は、夜明け前から西は笠岡港、東は牛窓港から朝市会場を目指します。  
 ○朝市会場を盛り上げたい、だけど資材を置く場所が無いということから、船で資材を持ってくると場所を取らないという利点があります。そして、狭い朝市会場にある川に船を浮かべる事で船で持ってきた現地の物(採れたて)をその日に新鮮なものが食べることができます。目標として、6時間以内のもの。水上屋台では、現地の人が調理・販売してくれます。

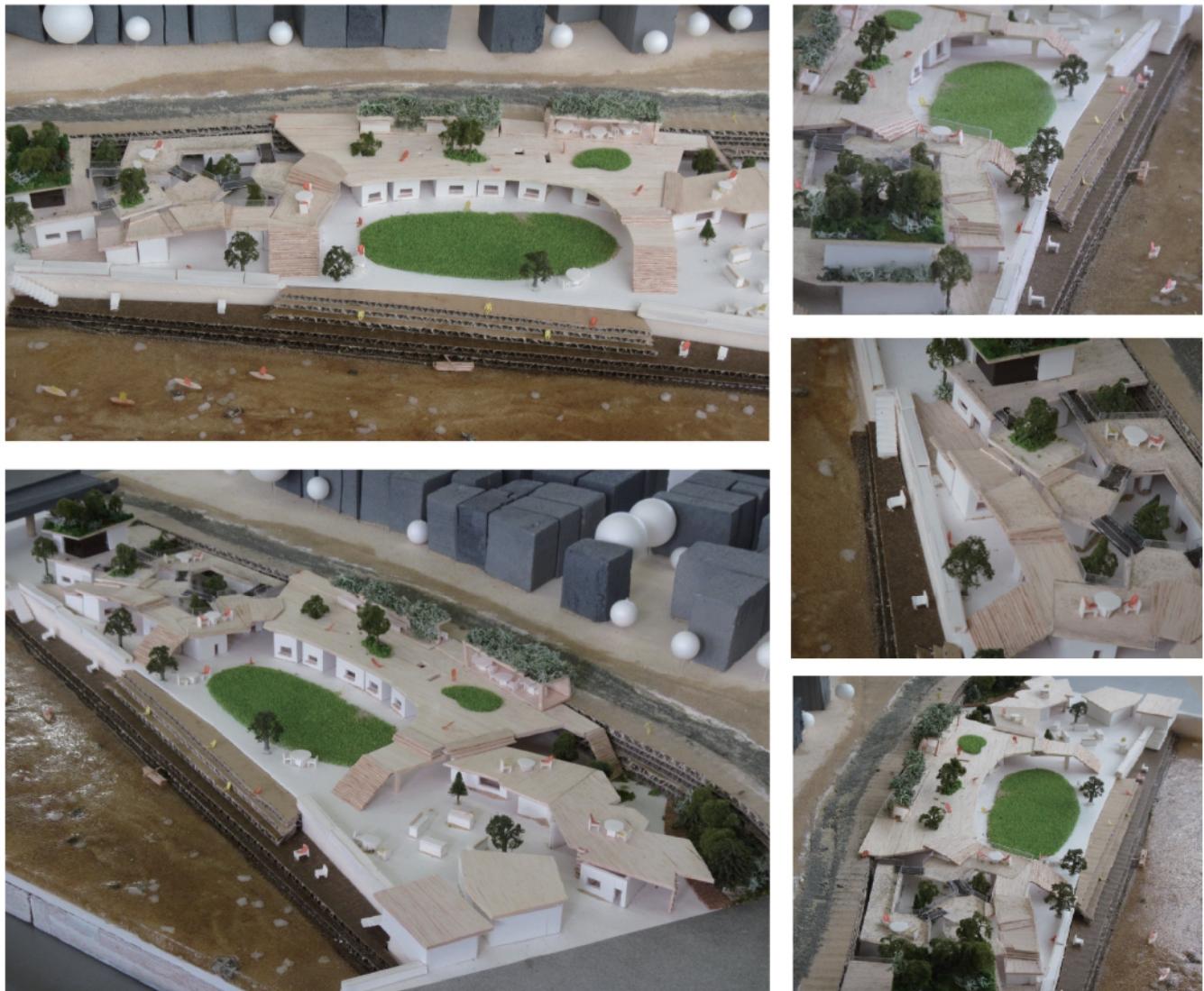
# 京橋から『繋ぐ』”とき、ばしょ、ひと“～朝市をにぎわせる～



▶岡山県立岡山工業高等学校 建築科

建築研究同好会チーム

坪井 成棕 藤井 亮太 小野 勇樹 坂下 巧陽 平賀 立晟  
的野 蒼樹 安井 大和 岡本 和真 小原 凜 河原 佑芽  
木村 友美 高瀬 萌海



## Concept

今回、私たちは京橋が朝市だけではなく、普段から地域の人や地域以外の人が「ひと」とつながり、人が来ることによって「とき」をつなぎ、出入口を岡山城に向けることで「ばしょ」をつなぐことができるのではないかと考えた。まず、普段からの賑わいを持たせるためレンタル店舗を設けた。お店を出したい人や、有名店が新作の商品を試すためにも使うことができる、2~3週間の日替わりの市場を考えた。また、中央に大きな芝生を設けることで子供たちが自由に走り回って遊べる場所や、子供連れの方々に買い物を自由に楽しんでもらうため、幼児などを預ける場所も設けた。さらに、岡山城側に出入口を向け、京橋で楽しくなった人たちにも岡山城に興味を持ってもらい、かつての賑わいを取り戻し、「とき、ばしょ、ひと」を繋ぎたいと考えた。

### 【レンタル店舗+カフェ】

この場所は全体的にゆったりとしたスペースとなっており、日によって変わる店とカフェで構成され、人気のある場所となる。また、ウッドデッキが段のようになり、高低差やそれぞれ

で違った視点がつながりを生み、下の建物も少し複雑な配置にすることで幼少期の好奇心がくすぐられる。

### 【繋ぎの場】

カヌー体験では広々とした場所で練習してほしいと考え、開けた場所を設けた。また、2階ウッドデッキや芝生では自然を感じながら談話や休憩などができる。ウッドデッキ下は所々に開口部を設け、通り道に自然光を取り入れ、幻想的な新しい商店街を作り出した。また、建物が不規則に並んでおり、それが大小様々な隙間を作り、その間から見える景色は美しいものとなる。

### 【パブリックスペース】

青空キッチンを設け、朝市では人気店が切磋琢磨する姿を近くで見ることができる。また普段は、お料理教室として使用する。2階ウッドデッキに梯子をかけることで子供たちが楽しめる場所や幼児を預けられる施設を作り、様々な人に楽しんでもらえる。

# 欠片の集積



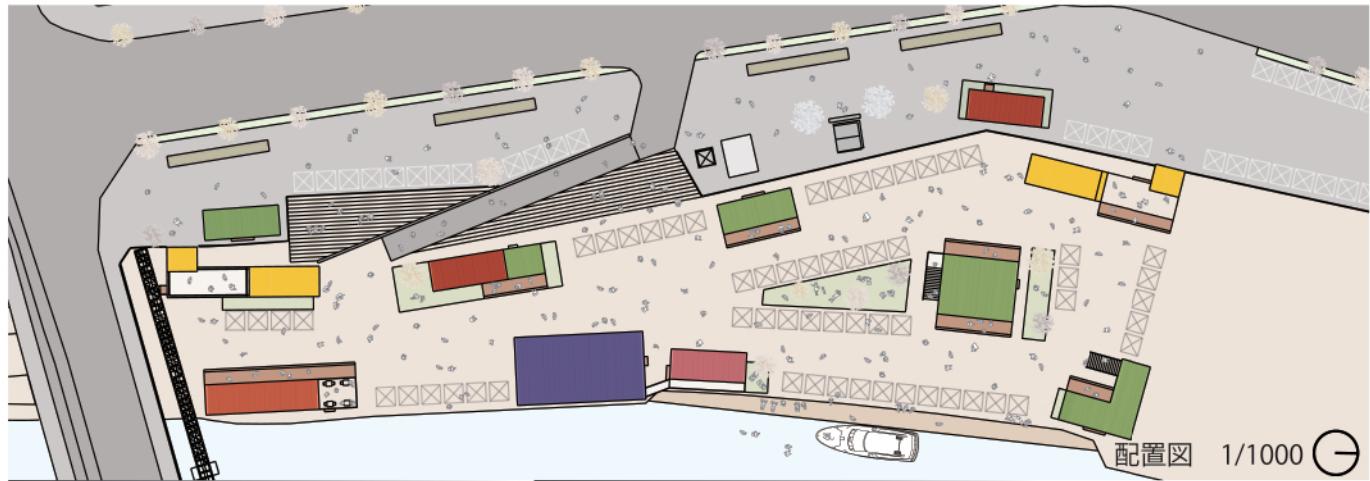
## ▶ 岡山理科大学 建築学科

### チームH

九重 光佑 井藤 大雅 クリスタル チュー シュエ ジン

小松 原領一 古山 大瑚 村井 温香 井上 順稀 今田 爽葉

加藤 朱里 高畠 咲紀 田中 友惟 中尾 恭輔 水口 隼



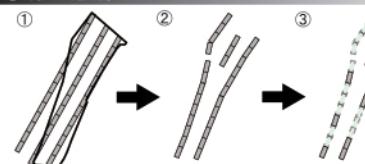
[1] 敷地分析



[3] 詳細平面・断面図



[4] 形態形成のダイアグラム



①直線的にコンテナを配置す

②動線と形状を照らし合せ、コンテナを移動する

③動線の基点を残し、朝市の入るスペースを確保する



[2] 計画の形成



現在京橋の周辺環境として、「朝市」「表町商店街」「瀬戸内芸術祭」があるがそれぞれで完結されており、関係性が希薄である。

それぞれの利点や問題点を具体的に上げ、京橋がそれらを補完し、また不足を持つもろ様に繋ぎ合わせる「ズレーピース」のような形態をとり、それらが来ることにより完成される建築となる。

## Concept

計画地周辺は朝市を主催する商店街が隣接しているにもかかわらず、人と人の繋がりは希薄であり、コミュニティが分散している。計画地を一つのパズルのピースとして捉えることで朝市、商店街、瀬戸内芸術祭のピースを干渉させ、計画地を媒体とし、それぞれの繋がりを作る。繋がりを作るきっかけとして、かつて物流拠点として栄えていた京橋の水上輸送と現代の物流拠点である陸上輸送のイメージを重ね合わせたコンテナヤードをモチーフとする。

空間を構成するコンテナもまた計画地における小さなピースである。コンテナのピースは様々な用途に対応できる柔軟性をもち、人が介入できる余地を作る。更に、コンテナに要素（機能・人・モノ）が入ることにより、計画地と朝市、商店街、瀬戸内芸術祭の新たな関係性を生み出す。関わる要素によって、独自のアイデンティティを持つパズルは日々変化し朝市開催時には朝市らしさを持ちながら、日常的には商店街と連携を持ったチャレンジショップ等で若者たちの集う場となり、様々な繋がりを生むきっかけとなる。

本計画ではコンテナごとに機能が割り振られており、朝市や日常的に使用されるコンテナは地域住民のレンタルスペースとしての活用。チャレンジショップでは起業を志す人への販売店舗や商店街と京橋が結びつく機能を持つ。また、日陰の少ない京橋で朝市を行うため気軽に立ち寄ることができる休憩所の機能を持つコンテナ。現在瀬戸内芸術祭への船着き場があるが場所がわかりにくく広告性があまりない計画地で最もわかりやすい場所に船着き場のコンテナを配置した。そして、瀬戸内芸術祭に将來出品しようとしている芸術家が準備期間として活用できるアトリエ・ギャラリーのコンテナがある。これらのコンテナを朝市の動線に配慮して配置する。

# 私、環足し、渡す。



▶ 岡山理科大学 建築学科

やだらぼチーム

小森 淳平 遠藤 友隆 三浦 謙也 原田 真里 田井 智也  
近藤 弘尚 宍戸 大輝 芳賀 亮太 原田 航佑 黒川 彰大  
河端 泰郭 和氣 慶直 中桐 康博 長島 広季 新宅 駿也

私、環足し、渡す。

Concept

新たな賑わいを生むために訪れる人々が主体性を持ち、それぞれがコミュニティに参加することが必要だと考える。そこで非日常だけでなく、日常のなかで散歩をする地域住民、通勤・通学をする人、京橋クルーズなどで観光に訪れたなど足を運ぶきっかけをつくり、交流の拠点となる「地域開放型」の施設を提案する。



## Concept

課題地は、北側に岡山県庁や岡山県立図書館をはじめとする文化施設と、西側に表町商店街を持つ河川敷であり、かつて岡山の水運拠点として栄えていた。しかし、鉄道や幹線道路の発達により賑わいの中心は岡山駅を中心とする市街地へと移っていった。また商業施設やマンションなどの開発が進み、歴史を感じさせる町並みや建物はほとんど残されていない。現在この周辺では京橋クルーズやカヌー大会などいくつかのイベントが開催されており、特に京橋朝市では地域住民を始めとする多くの人が賑わうが、やはり日常においては寂しさが目立つ。

ここに新たな賑わいを生むためには訪れる人々が主体性を持ち、それがコミュニティに参加することが必要だと考える。そこで非日常だけでなく、日常の中で散歩をする地域住民、通勤・通学をする人、京橋クルーズなどで観光に訪れたなど足を運ぶきっかけを作り、交流の拠点となる「地域開放型」の施設を提案する。

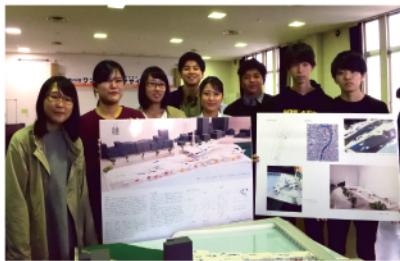
計画の核となる3つのフレーズ

- 「私」 … 主体性をもつきっかけを得る
- 「環足し」 … 人々がコミュニティをつくる、加わる。
- 「渡す」 … 次の世代へと継承していく。

「私」が「環」を足し、未来へ「渡す」。

この建築は、朝市の既存動線を「川の流れ」、出店エリアの外線を「川中島」とみたてた有機的な造形であり、無機的な橋を渡すことで、人の力でつながることを示す。また、南北に伸びる島を意識した造形は今後コミュニティの「環」が広がるとともに進化し新たな島へつながる可能性を秘めた計画となっている。

# 「維」つなぐ



## ▶ 岡山理科大学 建築学科

Y A S ラボチーム

大川 翔磨 北脇 綾夏 比良野 愛美 松下 亮太  
大崎 唯舞 木野本 僕斗 藤田 進吾 森 一紗



## Concept

「維」は「つなぐ」と読み、糸すじ、つなぎとめる、などの意味がある。

**【背景】**京橋は江戸時代から交通の要として栄えてきた。しかし現在は、城下町への入口や船着場といったかつての役割はなくなり、賑わいが薄れている。そうした現状の中、京橋を賑わせようと月に一度朝市が開催されており、来年5月には400回目の開催を迎える盛り上がりを見せている。それでもなお、岡山駅前や表町商店街、カルチャーボーンなどといった賑わいの中心地からは少し離れた場所にあるため、朝市のとき以外はなかなか人々の足が向かず閑散としている問題がある。

【コンセプト】課題である「京橋から『繋ぐ』とき、ばしょ、ひと」から、まず「ひと」を繋ぐ。ひとを繋ぐと賑わいが生まれ、他の賑わいの中心地と「ばしょ」が繋る。そして人が集まり賑わいを取り戻すと、船着場としての昔の賑わいを彷彿とさせ、その賑わいをずっと守り続けていくことで「とき」が繋る。

そこで、朝市のときだけでなく、普段の生活のなかでも人々が立ち寄りたくなるような新たな街の回遊の拠点を作り、「ひと」が繋がる空間の創出を目指した。

【設計概要】一度は衰退してしまった京橋の賑わいを取り戻すため、人の繋がりをコンセプトに設計した。賑わい、そして人々の触れ合いを失った京橋を割れたガラスの破片で表し、糸をイメージしたスロープでそれをつないで一つの建築にすることで、離れてしまった人々の結びつきを表現した。

敷地周辺には景色を見ながら座ってゆっくりすることのできる公園がないため、誰もが好きな目的で利用できる公園とした。屋根のガラスから入ってくる光を楽しみながらランダムに配置された柱の間を森の中を探検するように散策したり、屋根と屋根の段差に座って休憩したり、スロープで屋根の上を一周してお気に入りの景色を見つけたり。屋根の高低差やステンドグラスによりさらにいろいろな活動が生まれ、それが人々の活動、そして賑わいにつながる。

# MINORI



## ► 岡山理科大学 建築学科

M. L a b チーム

西井 隆人 伊藤 巧馬 三木 溪杜 東 晃平  
牧野 哲平 斎藤 紗希 岡 佑馬 金子 航輔  
蔵本 優希 河野 颯 近藤 健斗 白神 裕己  
田中 啓人 塙田 美咲 平井 崇裕



## Concept

岡山市のシンボルである「クロガネモチ」をモチーフに、とき・ばしょ・ひとをつなぐ観光複合施設を計画する。表町商店街や中心市街地のコミュニティが「幹」とすれば、京橋へと伸びる人々の動きは、その「枝葉」といえるであろう。そして、朝市の「赤いテント」はクロガネモチの「実」のように朝市の活気を象徴する。つまり、鶴成りの実のごとく「赤いテント」が旭川の河川敷に広がる光景は、時を越えて、岡山市の活気を示す新しいシンボルとなる。

現在、課題地周辺では賑わい拠点の分散やコミュニティの消失等の問題が生まれている。我々M. Lab チームが提案する「MINORI」は、岡山の商店街や観光地と京橋を結び、京橋の賑わいの種を岡山のまちに広げ、新たな賑わいを波及する役割を担う。





## 代表幹事 挨 拶

「京橋から『繋ぐ』“とき、ばしょ、ひと”～朝市をにぎわせる～」  
第 26 回ワンデーエクササイズは高等学校 / 専門学校 / 大学あわせて 89 名の学生の皆さんのが参加され 10 月 26 日に開催されました。今回は旧山陽道の岡山の入口であり水運の拠点であった京橋の朝市の会場を課題地としました。河川敷という難しい敷地にも関わらず、若々しく自由な発想による素晴らしい作品が集まりました。そして、千葉先生の的確な講評によって、この一日が学生の皆さんにとって、将来に希望が開ける有意義なものになったと思います。  
今回の経験が参加された学生の皆さんこれから建築に関する取り組みに生きてくることを期待しています。  
最後になりましたが、開催に至るまでにご尽力いただいた多くの方々に感謝申し上げます。

岡山建築設計クラブ  
代表幹事  
森 茂樹





# さあ、 2級建築士を 取得しよう。

建設業界は底堅い需要があり、安定した業績を挙げています。昨今では、災害関連の復旧・復興事業や、全国的な老朽化インフラ対策、国土強靭化の推進などにより、新たな建設需要が続いているほか、リノーバルやリノベーション、工事住宅に関心が集まるなど建設業界全体が熱を帯びています。しかしながら、建設業界は「資格」の世界であり、資格がなければできない業務が多いため、これから建設業界へ進む方は、必ず何らかの資格取得を求められます。

それではどの資格をめざすべきなのでしょう?

学生や社会人になって日が浅いみなさん特にオススメなのは、何といっても2級建築士。建築に関する学歴によってはすぐに受験でき、なおかつ非常に利用価値の高い資格。早い段階から勉強をスタートすることで、早期の合格をめざしましょう!

2級建築士は  
多くの企業に  
求められています。

Feature

1

今こそ建設業界へ進もう!

## 飛躍する建設業界

日本の基幹産業である建設業。  
今後ますます発展する業界で働く。

» 建設業は日本の就業者の  
約1割を占める基幹産業です。

出所:総務省統計局 労働力調査(基本集計)



» 日本の建設業界は、  
ますます発展する  
条件が揃っています。



# 総合資格学院

Feature  
2

## 2級建築士は何ができる資格なの? 2級建築士を知る

2級建築士は住宅のプロフェッショナル!  
資格をもっていれば将来の道も広がります。



» 設計や工事監理など  
建築関連の様々な  
業務ができ、業界での  
活躍の場が広がります

» 建築士事務所に最低1人以上  
必要な「管理建築士」※に  
なれます。



2級建築士から  
キャリアアップ!

※実務を3年間経験し、  
管理建築士講習の課程を  
修了する必要があります。

建設業界で  
活躍するには  
資格取得が重要!

岡山校 TEL.086-235-5901

〒700-0904 岡山市北区柳町2-6-25 朝日生命岡山柳町ビル1F

倉敷校 TEL.086-430-4711

〒710-0826 倉敷市老松町2-12-15 ホテル1・2・3倉敷 1F

Feature

3

取得は安定した将来につながる!

## 就職に強い2級建築士

2級建築士は就職・転職に非常に強い資格。

今、企業は若い有資格者を求めています。

▶ 有資格者の高齢化が進み、若い有資格者の数が不足しています。

大量退職した団塊の世代の有資格者

現在高齢化しつつある有資格者

有資格者不足!



▶ ハウスメーカー・設計事務所では必備の資格、大手ゼネコンでは入社時に2級建築士学科試験レベルの知識が求められます。

試験では実務的な能力が求められます。

難しい試験だからこそ対策をしよう!

Feature

4

2級建築士は簡単にとれる資格なの?

## 難化する試験

近年、難化傾向が著しい2級建築士試験。より実務的な対応力が試されています。



新傾向問題や法改正関連などの出題や  
目新しい出題方法が目立つ学科試験

最新の試験では、新傾向・新技術・法改正を含む出題に加え、図の読み取りに関する内容など、目新しい問題も目立ちました。さらには、実務的な問題や1級建築士で問われるような問題もあり、深い知識が試されています。合格を勝ち取るためにには、基本事項を原理・原則からしっかりと理解する学習や、新しい傾向について分析し、それを反映した問題演習等を実践して、高い得点が得られる実力を、すべての科目において身に付ける必要があります。



製図試験は1級建築士試験なみの難しい課題が要求されています。

簡単な試験じゃないみたいね…



建築士のことなら当学院ホームページへ!

www.shikaku.co.jp

総合資格

検索

とある建築学生の人生プランイメージ

人生の成功ライン

資格取得に熱心な人生

お先に!

同期に比べ早めの昇進

幹部に昇進! 大きな案件を名指して受注!

オパンning

社内・社外ともに頼られる存在に

生涯収入でも圧倒的な差がです。

昇進・昇格でも違いがです。

地道に頑張るも成功ラインまでははるかに届かず…

責任ある立場で仕事ができず、昇進・昇給もできていない…

資格取得に後向きな人生

大学卒業

入社1年目

入社3年目

入社10年目

入社20年目

入社30年目

在学中から2級対策スタート

予備知識を身につけて就職

十分な知識がない状態で就職

いざ資格勉強を始めようとしても家庭や仕事が忙しく時間もとれない…

資格は後でいいや…

ここが分歧点

Feature

5

## 2級建築士の勉強はいつ始めたらいいの? 早期スタートのメリット

昇進や収入アップを考えると有資格者は、もちろん有利。  
将来のことを考えると早めの取得がオススメです。

▶ 早期に資格を取得できるか否かが今後の人生に大きく影響します。(上図参照↑)

▶ 将来1級建築士をめざす方には、  
2級建築士の学習は最良の基礎学習。

2級  
建築士  
試験

2級建築士の学習は1級への最良の基礎学習

1級  
建築士  
試験

▶ 2級建築士の学習は卒業設計・卒業論文にも役立ちます。

受験生必見! 2級・1級「はじめての建築士受験」

建築士の試験概要や業務内容、勉強方法・講座案内まで、建築士受験に役立つ情報が満載!



岡山建築設計クラブ  
第26回 ワンデーエクササイズ2019

発行日 2020年6月

編集・発行 OKC 岡山建築設計クラブ事務局

〒700-0022

岡山県岡山市北区岩田町2-26 ニュー中桐ビル2F

TEL 086-233-1276 FAX 086-233-8351

URL <http://www.optic.or.jp/okcc/>

主 催 岡山建築設計クラブ

共 催 (一社)岡山県建築士会

(一社)岡山県建築士事務所協会

(公社)日本建築家協会中国支部 岡山地域会

(一社)日本建築学会中国支部岡山支所

(公社)日本建築積算協会中国四国支部岡山県部会

後 援 岡山県・岡山市・倉敷市

協 力  総合資格学院 (株)総合資格(取材協力)(特別協賛)

